

OSAKA

かなん

議会だより

河南分署に
高規格救急自動車を購入

2021.9 No.152

発行／河南町議会
編集／広報特別委員会

令和3年6月定例会議

令和3年7月臨時会議

高規格救急自動車を購入 P 2～4

全員協議会を開催 P 7・8

これが聞きたいねん一般質問 P 9～11
など

河南分署に「高規格救急車」の購入決定！

万一の際に、住民の人命を守ってくれる新型の資機材を搭載した高規格救急車が、来年4月から配備されます。

救急車には、新型コロナウイルス感染症に対応するものや、地域の特性に対応した資器材も搭載されます。

6月定例会議・7月臨時会議では、高規格救急車に関する質疑が行われました。その一部を掲載します。

6月定例会議

●議案第3号

令和3年度河南町一般会計
補正予算(第2号)

消 防 費

問 救急車購入の平均的な更新時期、耐用年数を聞く。

答 救急車の購入については、富田林市で消防車両の整備計画、年次計画を作っており、おおむね8年または、走行距離が15万km以上となっている。それ以上になれば更新するということになる。

問 救急車の車両本体価格は、550万円から1000万円程度といわれているが、それに高規格で医療機器、資機材を含むと高額になると聞いている。更新する救急車には、どのような機能をもった資機材を搭載されるのか。

高規格救急車の装備説明

低オゾンガス発生器

センサーが付いており、人体に無害な範囲内の濃度で車内を常時除染する。濃度が範囲外になるとセンサーが反応しオゾンガスの発生を停止する。

スクープ ストレッチャー

搬送具および固定具。半分に分離可能であり、傷病者を動かさずにスクープストレッチャーに乗せて搬送かつ固定が可能である。

半自動式除細動器

心電図の確認や、電気ショックなどを行うもの。

答 救急車の内容は、通常の救急車両に高度救命処置資機材、また、新型コロナウイルス感染

リスクを抑えるための自動心臓マッサージ器や高濃度オゾンガス発生器などを新たに導入する予定。また、山岳救助用の資機材も装備を予定している。

問 旧車両は、廃車にするとのことだが、売却は検討したのか。救急車は需要があって、インターネットでは、200万円・300万円程度で取り引きされている。住民の財産なので売るべ

き。

答 今の段階では廃車を前定に入札を行う予定だが、救急車の下取り・売却については、一度検討する。

問 救急車の処分について、富田林市に伺いを立てるのではなく、町が主体的に考えるべき。8年15万kmというのは、トラックでも一番調子のいい時期。そのような価値あるものを簡単に

処分すべきでないと思うが。

答 現時点で、8年5か月が経過しており、走行距離も19万kmになっている。購入時期においては、9年を過ぎて走行距離も20万kmを超えている。救急車には特殊な資機材を積んでおり、その機材をインターネットなどで販売できるかについても検討する。

問 富田林市・河南町広域消防運営計画に、新しい車両は「河南町が取得及び所有し無償で富田林市に貸与する」という記載がある。一方、はしご車や、工作車などの消防車については、人口割りで各市町村が負担していると聞いている。救急車も人口割りにすべきであり、今回は無理でも、次回の購入に向けても、その内容を改正すべきだと思うが。

答 救急車やその他の負担金については、「河南町・富田林市消防事務の委託に関する附属協定書」および、その運営計画により当時決められたことで、今の段階ではこの線で行きたい。消防の広域化が進めば、また違った積算の方法も考えられる。

問 高規格救急車の購入予定金額は、4282万3000円と

かなり大きな金額だが、現在、町の救急車の稼働状況・出勤回数としては、町内に約50%、40%程度が富田林市、その他の方に10%出勤している。住民のためにも人口割り、または出勤回数割りにすべき。規約には、必要であるような部分については経費の一部を負担することができるとあり、解釈によっては対応可能ではないか。

答 分署を設置する上で、救急車は町村が負担するものと考えている。出勤については、その事件発生場所などから、一番近いところにある救急車が出動するという観点からそのような実績が出ていると思われる。今の段階では、富田林市と町との広域消防の運営計画の取り決めの方向性で対応する。

問 千早赤阪村が令和元年度に救急車を落札した金額が4092万円だったとのことだが、今回救急車の費用は、どのように積算されたのか。また、業者から事前に見積りをとったのか。

答 救急車の購入前に、富田林市消防本部内にプロジェクトチームが設置され、そこで、各地の特性に応じた救急車の仕様を検討し、そこで作成された仕様

加湿流量計

酸素投与時に酸素流量を調整するもの。

ベッドサイドモニター

心電図、血圧、脈拍、SPO2（血中酸素飽和度）を測定する装置。

メインストレッチャー

傷病者を搬送するベッド。

吸引器

口や鼻から、痰や嘔吐物などを吸引するもの。

人工呼吸器

器具による気道確保（気管挿管など）実施時に接続し人工呼吸を行う機器。

酸素バッグ式

救急車外での酸素投与や血圧測定器具などを積んだバッグ。

掲載協力：富田林市消防本部

7月臨時会議

議案第5号

財産の取得（河南町高規格救急自動車購入）について
〔購入金額4180万円〕

書や積算金額を資料として、今回の仕様書を積算としている。入札に参加する業者から見積りは入手していない。

問 入札参加15者のうち、8者は「取り扱いが無い」という理由で辞退されたところ。入札された2者以外の残り5者は、どのような理由で辞退されたのか。

答 辞退された8者は、仕様書の取り扱い無しが理由であり、救急車自体の製造が無いという理由での辞退が3者、自社都合による辞退が2者であった。

問 ほとんどの業者が対象とな

る救急車の取り扱いがないとのことだが、この入札方法で間違いないのか。また、車種（トヨタ・ハイエース）が限定されて今回このような入札になったのか。

答 今回の入札については、トヨタのハイエースということでは、車種が限定されていまして、競争入札といえど、最終的には落札した大阪トヨペットと、もう1者が30万円オーバーで入

札。それで競争原理が働いているのか。今後、入札方法の改善とか改革の必要があるのでは。

答 仕様が特定されると応募業者のほうで、制限されるということもあると思われるので、できるだけ多く参加できるように見直したい。

問 購入する高規格救急車に積み込まれる新たな予定の資機材は。

答 今回車両に搭載する高度救命処置資機材としては、気道確保資機材、ビデオ喉頭鏡、人工呼吸器、自動体外式除細動器、輸液用資機材、血中酸素飽和度測定器、心電計および心電図伝送装置、自動式心マッサージ器などを搭載。その他、町の地域性を考慮した山岳救助用の資機材、それと患者や救急隊員をウイルスや菌から守る為のオゾンガス発生器などを搭載予定。

問 指名競争入札は、町が業者を選ぶものである。それを行う契約検査室はどのような仕事をしているのか。

答 入札参加資格者名簿に登録された救急車等特殊車両を希望している業者が15者あり、そこ

（次頁へ続く）

車内に装備される機材

自動心マッサージ器

自動心臓マッサージシステム。現場で他の救命処置を行う際や、傷病者の搬送時にも絶え間ない胸骨圧迫を実施することができる。また、コロナ禍で直接処置をする隊員の感染リスクを軽減することができる。



高濃度オゾンガス発生器

救急車内の除染や機器の消毒滅菌を行う。



山岳用担架（スパルタン）

チタン製なので軽くて丈夫。山岳事案では、2つに分割して運搬し、使用時に組み立て、地上や雪上でも引きずって使用することもできる。また、ヘリコプターでの救出の際には、吊り下げて使用することができる。

掲載協力：富田林市消防本部

へ指名通知を送るという手続きになっている。事前に町の方で業者を選定して指名から外すような事はしない。入札制度については、公正な競争原理が働くような形で進めることで、一般競争入札への移行、制限付きの提案方式など、いろいろな方式の採用なども日々検討する。

問 千早赤阪村に、新しく購入された救急車は、恐らく富田林市と同じ仕様と思われるが、資機材の内容と費用について、町が導入予定している救急車と違いがあるのか。

答 千早赤阪村の救急車も富田林市のほうで仕様書は作っている。資機材の新旧はあるが、町とほぼ同じであり、金額も4100万円程度と聞いている。

問 今回入札の落札率98・7%であるが、予定価格はいくらだったのか。車両は、トヨタのハイエースと限定している理由は。

答 予定価格は、税抜きで3850万円。車両の指定については、富田林市消防署管内にある車両6台が全て、トヨタのハイエースで統一されている。消防本部職員の配置転換などにおいて、車両も資機材も統一しているれば、どの救急車に乗っても同じ対応が可能となるため、人命救助の観点から統一している。

問 車両と資機材を分けて、分離分割発注ができなかった理由は。

答 他市などでは、分離発注している地域もあるが、富田林市消防本部と協議の結果、町では一括発注となった。

問 分離分割発注を検討し、より最新の機材を導入するよう、地域に対応した車両の導入も含め、入札前の検討が必要だったのではないのか。

答 救急車導入の際は、富田林市消防本部内において、仕様の装備や調査研究を行う検討チームが設置され、町の職員も入っている。検討チームでは基本となる仕様書を基に、各地域の特性に応じた救急車の仕様を作成し発注している。資機材は、その時点の最新のものを搭載される予定である。

問 新しい救急車に対して、人命、健康管理、維持について期待するところが大きい。補正予算から1か月が経過し、現行使用している車両の処分についての検討内容を聞きたい。

答 更新対象の救急車は、永久抹消処分を行わない。車体名称を消去、赤色灯、サイレンおよび無線機などの撤去を行い、その後、官公庁のインターネットのオークションにて売却可能か検討したい。

問 過去から建築関係の入札は、最低入札価格を毎回公表して、100%くじで業者を選んでいく。新たな仕組みをつくる必要があると思う。

答 入札制度については、さまざまな経緯があり、事前公表で最低価格や予定価格を公表する

という現在の形になっている。府内でも事前公表を行っている自治体が半数以上あり、それ自体が間違いだとは考えていない。現状では、今の入札の仕組みを維持したい。

問 新たに購入する資機材の中に、隊員を新たな感染症から守る機材は搭載されないのか。

答 現在予定しているのは、高濃度オゾンガス発生器の搭載である。

問 救急車の購入予定価格の決め方は。また、トヨタ以外にも高規格救急自動車はあるのか。

答 特に、法律や規定はないが、見積りを参考に予算額を作成している。また、トヨタ以外に、日産も導入されているケースがあると聞いている。

以上、長時間に渡るさまざまな協議を経て、高規格救急自動車の購入が議決されました。高額ですが、万一の際に、命を守ってくれる大切な頼みの綱ともいえるこの高規格救急自動車の導入は、住民皆さんへの安心感を高めるものと期待しています。

多数賛成
可決

沖縄戦戦没者の遺骨等を 含む土砂を埋め立てに使用しない ように求める意見書

要望内容

1. 沖縄戦の戦没者の遺骨等が混入した土砂をあらゆる埋め立てに使用しないこと。
2. 日本で唯一、住民を巻き込んだ地上戦であった沖縄の事情に鑑み、「戦没者の遺骨収集の推進に関する法律」により、日本政府が主体になって戦没者の遺骨収集を実施すること。

反対論

○中川議員…時期の問題から考えても、町が突出して意見書を提出することにもう少し慎重に

賛成

○力武議員…遺骨の眠っている土地を埋め立てに使用しているのは、犠牲になられた戦没者を冒瀆するもので、許されるものではない。戦争の惨禍を再び繰り返さない。平和な世界を実現していく上でも、土砂の使用はあつてはならない。平和の大切さを改めて誓い、賛成とする。

見極める方が良い。菅総理も、この問題については沖縄県議会の意見書を尊重しながら、沖縄防衛局のほうが適切に処理されると述べている。それ以上でも、それ以下でもないので、今回は反対とする。

区長会役員と議員との 意見交換会



8月5日、区長会役員と議員との意見交換会を行いました。この意見交換会は、区長会からの申し出を受けて実現したもので、区長会の役員(5人)の皆さんと新型コロナウイルス感染症対策や秋祭り、府道柏原駒ヶ谷千早赤阪線の歩道設置、町の土地利用などの意見交換を行い、地域の課題について熱心に話し合いました。

区長会の役員の皆さんからいただいた意見は、今後の議員活動に生かしていきます。

シリーズ議会⑤ へへ、知らなかった! 議会のお仕事

「意見書」って何??



「意見書」は、議会の意思を意見としてまとめた文書のことを言い、議会は、地方自治法第99条に基づき、町の公益に関することについて「意見書」を、国会や関係行政庁に対して提出することができます。

最近の町議会からの意見書として、「不登校児童生徒に対する支援の強化を求める意見書」や「防災・減災、国土強靱化の意見書」、「新型コロナウイルス感染症の税財源の確保を求める意見書」などを提出しています。

東京2020パラリンピック 聖火フェスティバル採火式



8月13日、役場1階ピロティで「河南町東京2020パラリンピック聖火フェスティバル採火式」が行われ、町議会から浅岡議長が参加しました。

採火は、町身体障害者協会・手をつなぐ親の会の人たちが行き、方法は火打石のような器具を使って焚火台へ点火。キャンドルトーチを使いランタンへ移されました。

採火は、府内の市町村で行われ、採火された火は、ファインプラザ大阪(堺市)に集められて東京へ送られ、都道府県から集まった火と1つとなり、都内を聖火リレーした後、国立競技場の聖火台に開催期間中絶えることなく灯されます。

7月臨時会議

一般会計補正予算
(コロナワクチン接種関連)

新型コロナウイルスワクチン
接種体制確保事業として
2018万4千円を追加

問 富田林で行われた予防接種の集団接種に関わる予算の総額はいくらか。

答 富田林市の予算計上されているのが9月末までの金額として2億582万6千円。

問 16歳からの接種となり、若い人たちの副反応に対し、住民の皆さんから心配や不安の声

をよく聞く。どのように対応しているのか。

答 ワクチン接種の副反応については細かなところまではお知らせできていないところもある。今後は、ホームページや接種会場で、注意事項についてお知らせをしていく。

問 12歳から15歳のワクチン接種についてはどうなるのか。

答 現在のところ、12歳以上の安全性に対し接種できる形ではない。国の状況を把握した上で富田林医師会と相談して進めていきたい。相談窓口として健康づくり推進課で対応をしている。引き続き、個別の相談も受けたい。

議会改革特別委員会を開催

令和3年6月15日、議会改革特別委員会を開催し、議会の改革の先進地である熊取町からの回答、小委員会の進捗状況などを話し合いました。

今までの流れ

議会改革の取り組みを継続、発展させることを目指し、議会基本条例の制定に向け活動を開始。

《議会基本条例とは》 ↓ 議会活動の理念、原則、制度などの基本的な事項を定めている条例。
《なぜ制定されるようになったのか》 ↓ 地方公共団体に権限が大きく移されようとする中、

地方議会が担う役割も大きくなってきており、議会改革を積極的に進める議会が、住民に対し積極的に情報発信などの取り組みが行われ全国的に広まった。

活動状況

1. 府内で、すでに議会基本条例を制定済みで人口規模的にも本町に近い熊取町議会に質問形式で、次のような問い合わせを行い、回答を得た。

● 河南町からの質問：議会改革検討特別委員会を積極的に開催されておられますが、議会改革を取り組もうとされた目的（理由）をお聞かせください。

● 熊取町からの回答：議会機能

強化、効率的な議事運営等議会改革の推進に努め、より一層開かれた議会を目指す。具体的には通年議会、議員定数、報酬、タブレット端末の導入などを進めるため、特別委員会を設置したところです。

などの回答を得た。今後、本町の議会改革に向けて参考にする予定。

議会改革について

2. 当委員会における『2つの小委員会』の中間報告

○ 小委員会1『町民と議会の関係の調査・研究班』の報告
コロナ禍で集まるのは難しいが、こちらから出向くというより、議会に集まってもらう。例えば区長会、子供会、PTAなどの関係者に来てもらい対話をする。手法として次のことを考えている。

- ① 来ていただきたいいろいろな意見を述べてもらう。
- ② 議会での活動などの議員との対話を検討。

人数的には大人数でなく対話しやすい人数で行う。

○ 小委員会2『町長による政策

などの形成過程の説明の調査・研究班』の報告。

さまざまな意見が出されたが、最終的には、基本的には資料の提供というものを、できるだけ早期に出してもらえようという形に持っていけるのがいいのではないか。

その為には、基本条例に載せることで義務化することが重要との方向で今後も進めたい。

3. その他、委員からの意見として
議員申し合わせ事項について、改正事項や追加事項などが有れば十分議論し、対応していくことも課題とする。

「隣接する鉄筋加工作業所の騒音被害から平穏な日常生活を取り戻す請願書」を受理

請願

付託を受けた総務建設常任委員会において第1回目(令和3年6月2日開催)の会議を開催しました。引き続き調査・審査を行います。

審議結果

● 6月定例会議

各議員の表決 ○=賛成、●=反対、―=議長、欠=欠席		審議結果	高田	松本	河合	大門	力武	佐々木	廣谷	浅岡	福田	中川
件名			伸也	四郎	英紀	晶子	清	希絵	武	正広	太郎	博
河南町税条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決	○	欠	○	○	○	○	○	―	○	○
河南町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決	○	欠	○	○	○	○	○	―	○	○
令和3年度河南町一般会計補正予算(第2号)		原案可決	○	欠	○	○	○	○	○	―	○	○

● 7月臨時会議

各議員の表決 ○=賛成、●=反対、―=議長、欠=欠席		審議結果	高田	松本	河合	大門	力武	佐々木	廣谷	浅岡	福田	中川
件名			伸也	四郎	英紀	晶子	清	希絵	武	正広	太郎	博
沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋め立てに使用しないように求める意見書		採択	○	○	○	○	○	○	○	―	○	●

全会一致の可決議案

件名	
令和3年度河南町一般会計補正予算(第3号)	財産の取得(河南町高規格救急自動車購入)について

全員協議会を開催

4月14日は、国土強靱化地域計画、災害ハザードマップ、第6期障がい福祉計画および第2期障がい児福祉計画、都市計画マスタープラン、下水道の事業経営戦略などの説明を受け、また6月14日には、新型コロナウイルスワクチン接種についての説明があり、それぞれについて協議しました。

国土強靱化地域計画

- 問** 大規模災害が発生しても致命的な被害を負わない強さと、速やかに回復するしなやかさを持った強靱な地域を作り上げる。
- 答** この計画は、個別計画の指針となるもの。課題は個別計画で策定し制御不能な複合災害の2次災害防くよう努める。
- 問** 町の歴史の中で過去の大きな被害を被った、昭和57年の台風被害などの教訓を生かした計画になっているのか。
- 答** おおむねカバーできている。
- 要望** 昨今、集中豪雨など気象条件も変わっている。想定外のことも考え、計画に盛り込んでもらいたい。

- 問** 障がい者、障がい児の地域生活を支援するためのサービス基盤整備などにかかる目標を設定し、障がい福祉サービスおよび、障がい児の通所支援などを提供する体制の確保を図る。
- 答** 割、窓口での相談体制などにも対応している。
- 問** 具体的に、何をするのが町の役割なのか。
- 答** 成果目標は、施設の目標であって町の目標とは違うと思うが、地域移行や、就労支援を図る人数などを目標として掲げている。町が働き掛けや各機関と情報交換・協議などしながら、個々の事情に応じて地域移行・就労を図れるか。重点的に取り

第6期障がい福祉計画 および第2期障がい児福祉計画

- 要望** 職員が現場に向くなど施設に顔を出すことで、施設職員のモチベーションも上がるので、そういう取り組みも行ってほしい。
- 問** グループホームは、町内にある施設で充足しているのか。
- 答** 足りていないという事は十分であるとは認識していない。
- 要望** 職員が現場に向くなど施設に顔を出すことで、施設職員のモチベーションも上がるので、そういう取り組みも行ってほしい。
- 問** 成年後見の後見人の契約で、非常に高い契約をしている。基準報酬があるはずなので、チェックできないのか。
- 答** 後見人が決めるわけではなく、家庭裁判所の方で一定の基準など公正に判断し、額が示されているはずだ。

災害ハザードマップ

- ハザードマップは、災害が起ったとき、どこにどのような危険があるか、どこに避難したらいいかという情報を地図上にまとめたもの。
- 問** 多言語対応となっていない。日本語を理解できない人もいるが、その対応はどうする。
- 答** 今回は、イラストを挿入し、分かるように工夫している。
- 問** 鈴美台一丁目は、地滑り危険か所となっている。安全性は確保されているのか。
- 答** 国の調査要領・点検要領により府が実施した机上調査で判明。災害などが発生する恐れのある個所で、法的な位置付けはないということを書いている。住宅開発で都市計画法のある。住宅開発で都市計画法の手続きをし、完了検査も受けている。正式な開発などの整備工事が行われているが、開発される前の図面なので、消すことができない。
- 要望** 指定避難所の指定方法の考え方を考えてもらえなければ住民は安心できない。今後、検討してもらいたい。
- 問** 避難勧告が出た場合、避難所は何か所開けるのか。
- 答** 警戒レベル3の場合、農村環境改善センター1か所。避難指示の避難場所は、石川地域は石川こども園。白木地域は農村環境改善センター。河内地域はさくら坂集会所。中村地域は中地区・老人集会所。大宝地域は大宝地区公民館の5か所。

都市計画 マスタープラン

平成22年に策定した計画が、令和2年度に10年の期間満了を迎えることから、都市計画法に基づき、町の都市計画に関する基本的な方針や将来ビジョンなど、新たなまちづくり計画と歩調を合わせ総合的な指針として策定する。

問 都市計画審議会で指摘した箇所は、修正された計画となっているのか。

答 指摘された箇所は修正している。

問 市街化調整区域の地区計画の提案に必要な面積は、平米数の規定は何㎡以上となっているのか。

答 法律上は5000㎡以上のエリアであれば提案できるとなっている。

問 もう少し細切れにしていくように考えないと、土地利用は進まない。

答 もう少し緩和できないか、研究してみる。

新型コロナウイルスワクチン接種

12歳から64歳について、接種スピードを加速させるため新たに接種会場「ぷくぷくドーム」を設置。接種期間2か月で終える予定。

問 ぷくぷくドームは、接種期間中、一般利用を中止するということだが、ホール、アリーナともに利用中止なのか。

答 アリーナについては、状況を見ながら接種しない日は、利用できるようにしたい。

問 64歳以下の接種となると、夜間に接種を希望する人もいると思うが対応してもらえるのか。

答 接種の体制は可能と聞いている。

問 PL錬成会館の接種終了後、町の予約者がいる場合は、対応してもらえるのか。

答 富田林医師会と協議し、これから検討していきたい。

問 64歳以下の2回目の予約はどうするのか。

答 検討中だが、1回目接種後待機している間に2回目の接種候補日を示し、予約を進めていくように考えている。

問 12歳から15歳の接種対象者

の安全性が問題視されているが、どうするのか。

答 現在のところ、16歳未満の人については、こういった形で接種を進めるかは未定なので、決まり次第、案内する。

問 かなちゃんバスを利用した場合、無料で乗車できるのか。

答 住民に負担を求めないという原則のもとで仕組みを考えているので、今と同様となる。

問 ぷくぷくドームで接種の場合、

合、アナフィラキシーショック

が起きたときの対応は。

答 今までのノウハウがあるのと、安全に実施することができると考えている。

問 ワクチンの配送はどういった方法で輸送されているのか。

答 冷凍の状態でも耐えられるような形で配送されている。

問 基礎疾患のある人の優先順位は、どのような方法で優先させるのか。

答 予約段階で予約をとれる順番を区分して優先順位を設けるということを検討している。



下水道事業経営戦略

公営企業は、令和2年度までに経営戦略を策定することが求められ、施設・設備投資の見通しとなる投資資産・財源の見通しを立て、起債の協議資料とする。

問 大宝地区の管更生による長寿命化計画は終わったのか。

答 必要な箇所はすべて完了した。

問 下水道管の耐用年数は50年ということになると、今後多大な資金がいると思う。広域化につなげていくのか。

答 一緒にやればスケールメ

リットを生かして調査費なども安価になる。河南町・太子町・千早赤阪村・富田林市の4市町村で共同して広域化したような取り組みをやっている。

問 下水道は広域化するほうがいいのではないか。

答 経営統合という方向性はないが、府内の中でも話し合いがあり、共同でメリットは出せないか、情報交換する場はある。

問 経営戦略の目的は何か。

答 経営するための収支、財

源の確保などを明らかにし、経営を健全化していくという

問 下水道事業は受益者負担金以外に、下水道を利用しないすべての住民の税も投入している。そこを理解して経営すべきだ。

答 経営は使用料でどこまで賄えるかが一番のポイント。使用水量が減ると下水に流す水量も減る。その点で経営が厳しい。それを踏まえ経営の在り方を考えていく。



佐々木希絵 議員

問 ワクチン事業の利便性向上を 答 町内で接種、予約方法を改善する

問 町内で辻に立っていると、住民からワクチン事業の利便性が悪いとの声をもらう。6月1日に予約方法改善や優先順位の明確化などを求めて要望書を提出したが、対応は。

答 64歳以下は、会場をぷくぷくドームに変更した。予約はインターネット、LINE、電話で対応するが、2回目は会場

で受け付ける。基礎疾患のある人、60〜64歳の人、保育士、教職員、消防、警察職員などの予約開始を早めに設定する。

気候非常事態宣言を出さないのか

問 町の温室効果ガス排出量は2013年で8万7千t、2018年に7万3千tと若干の減少傾向が見られる。しかし、

パリ協定の目標達成のためには2030年度までに4万8千tに減少させる必要がある。取り組みは。

答 平成20年にエコアクション21を取得し、公共施設の省エネ化、ボランティア団体を組織して自然観察や環境関連の施設見学を行ってきた。公共施設に限ると、平成27年度比で令和元年度は10・5%削減している。



▲気候非常事態宣言で気候変動への対応を。

問 議会では、昨年3月に気候非常事態宣言を出すよう求める決議を全会一致で可決している。宣言では、削減目標値を定めて計画を作成し、実行に移すことを求めている。他自治体では宣言が増えているが、町は。

答 前向きに検討の必要がある。

問 特別職も条例の対象だが、指導はどのように行っているのか。

答 きちっとした形で周知はしていない。今後は注意をしていく。

問 11条の調査はどのように行うのか。

答 内部告発や不自然な

問 教科書選定委員会で不正が全国で90件あった時、町でも不審なことがあったが見逃されている。

答 調査する。

問 私的な関係であれば、条例が適用されない。せめて、事後報告などの制

答 度化が必要では。

問 すべての行為を一切禁止はしていないが、今一度、職員に条例内容を周知する。

答 周知する。



▲ワクチン予約の利便性向上を！

問 今年2月に総務省幹部11人が処分された。町

答 一般質問は、町のさまざまな課題などについて、議員が町執行機関に質問し、見解を求めるものです。

問 内部告発や不自然な

答 周知する。

問 周知する。

答 周知する。

これが聞きたいのね

一般質問は、町のさまざまな課題などについて、議員が町執行機関に質問し、見解を求めるものです。

一般質問（個人）



廣谷 武 議員

問 コロナで自宅療養者の対応

答 希望者に配食サービスの実施

備し、協力医療機関におけるオンライン診察および薬剤処方の実施、パルスオキシメーターを全員に配布するなど健康観察の強化、また、希望した自宅療養者に配食サービスを実施。

予期間中の延滞金は免除される。

新型コロナウイルスワクチン接種

問 16歳から64歳のワクチン接種のめどは。

答 ぶくぶくドームで、

問 コロナ不況で収入が減少した人への減税は。

7月・8月・9月までに希望する全員の人々が接種できるように考えている。

答 個人住民税、固定資産税、法人町民税、軽自動車税などについて、一定の収入が減少した場合、徴収猶予ができ、徴収猶

2回目のワクチン予約は1回目の接種後の待ち時間にその場で予約できる。

問 近隣の道の駅では、若者のアイデアのもと、地元野菜や果物販売に加えカフェスペースを設けてランチなど行われている。町でも、若者にスペースをあけて提供できないか。

答 若者の感性を経営に取り入れることは「道の駅かなん」がさらに発展するツールと考えている。指定管理者とも情報共有し、さらなる発展に努める。

新型コロナウイルス感染症の支援

問 コロナで自宅療養者の支援は。

答 保健所で民間派遣会社による往診等体制を整



▶新型コロナウイルス感染症への支援は。（写真は、酸素測定器「パルスオキシメーター」）

観光課が設置された。進捗状況は

問 農業体験農園や収穫だけを体験する観光農園などある。町の支援体制は。

答 開設、運営の方式によって農地法や農業振興地域の整備に関する法律などの許可認可が必要な場合があることなどを踏まえつつ、農業者が求めるニーズに合った形で農業と観光と両面の施策から支援に努める。

特産物としていちじく、イチゴなど色々あるが支援体制は

問 特産物で町の活性化を図れないか。



▲収穫体験などの観光農園への支援は。

答 南河内いちごの楽園プロジェクトを実施し、いちごアカデミーを開講し、就農に向けた支援を行っている。農業経営を営むに当たり、管理・運営など課題はさまざま

が、町では農業、観光の両面から町の活性化が図れるように必要な支援に努める。

町で若者が活躍できる場所を提供



中川 博 議員

問 集団健診希望者への対応は

答 個別受診周知と令和4年度の検討



▲新型コロナワクチン接種。電話とインターネット予約の割合は。

問 特定健康診査の実施主体と義務化について。

答 実施主体は、国民健康保険の保険者の町で、責務になっている。

問 町は早期から集団健診に力を入れてきた。実施計画はどうか。

答 平成30年12月に第3期特定健康診査等実施計画を策定し、令和5年までに受診率65%を目指すとしている。

問 集団健診を受診したいと希望する住民への対応はどうか。

応はどうか。

答 コロナ禍の中、集団健診における健診事業者との調整が難しく、大幅に少ない結果になった。

令和3年度は、個別受診勧奨など周知啓発を行い、12月や令和4年度の集団健診は、より多くの人に受診してもらえよう、実施方法を検討したい。

問 電話予約とインター

新型コロナウイルス感染症対策について

ネット予約の割合は。

答 インターネットの割合を多く対応していく。

問 多くの人が、まず受けられるように予約を1回目と2回目に分けられたいが、同時予約の富田林市との比較はどうか。

答 現在、町は85%弱の接種率ですが、富田林市は80%以下だと把握している。

問 2回目の予約方法はどうか。

答 1回目の接種会場で2回目の予約を取ってもらえるよう計画していく。

問 地域通貨(かなちゃんコイン)の配布時期は。

答 秋にスタートできるように準備を進めている。

大阪芸術大学とのコラボレーションについて

問 現在と今後のコラボレーションは。

答 現在は、プロモーション動画、LINEスタンプイラスト作成、中村こども園の庭園デザイン、



▲中学生が通学で使用する電動アシスト自転車の補助制度の検討は。

ぶくぶくサンデーコンサートなど、今後は、町の魅力向上につながる取り組みを検討していく。

里道の管理について

問 地方分権一括法により、里道、水路など法定外公共物が無償譲与された、町で管理すべきでは。

答 通路としての機能が限られているものは、当該受益を受ける地域の人に、協働による機能管理をお願いしている。

問 私有地なら維持管理は個人で行えという。町

有地ならば、町が維持管理するのが道理である。

答 非常に多くの法定外公共物が存在し、自治会や、利用者に機能管理を頂いている。他の例を踏まえて研究していきたい。

中学生の通学について

問 高額な電動アシスト自転車の補助で町長の考えは。

答 補助を出すことにより公平性を崩す問題もあり、研究していく。

シリーズ



(48)

—その道の達人から学ぶ—



有機飼料で育てた鶏の卵を食べてもらいたい!

タナカファーム

代表 田中 成久さん (上河内)

今回は上河内で40年以上、養鶏をされている田中成久さんを紹介いたします。養鶏場へ取材に行つて驚いたことは養鶏場特有の「におい」がしないこと。餌にトコトンこだわつておられ、糞のにおいをおいでも、ほとんどにおわない。その要因は、北海道産トウモロコシや、田中さんの農地で育てた有機カボチャの自家製サイレージ(発酵飼料)、有機JAS認証を受けた国産大豆など、添加物を使つた市販の配合飼料は一切与えない。動物医薬品も使用しない。小米、小麦、大豆などの保管も大型冷蔵倉庫で安全に管理されている。

田中さんが19歳の時、父親が他界され、母親も病気がちという環境の中で所帯主として一家を支えることになる。当初は切り花などで生計を補つていた。子どもが産まれた時に7羽の鶏を飼つたのが養鶏を始めるきっかけ。それが今では1400羽以上の数になり、



▶鶏に愛情を注ぐ田中さん。

1日に1000個弱の卵を産む環境となった。「ここまで大きくなるとは思つてなかつた。」と、田中さんは笑顔で当時を振り返つておられました。上河内の養鶏場は、生活排水なども無く環境が良い。鳴き声による他人への迷惑も考えなくて良いので最高の環境。また、町内の有機農業に挑戦されている人たちとコラボしていきたくとも話されていきました。卵にも旬があり、冬の1月から3月に産むものが一番味が濃く、夏の暑い時期は、鶏も人間と同じで、つらいように感じると話される。

タナカファームの卵「喜味の鶏子」は、千早赤阪村羽曳野市、河内長野市の道の駅で販売されている。ぜひ皆さんに食べていただき、違いを感じてほしい。

大阪広域水道企業団 議会議員の選出

6月1日の定例会議において、浅岡 正広議長が選出されました。

定例会議の日程

令和3年9月定例会議を、次の日程(予定)で開催します。

- 9月7日 開会
- 9月24・27日 一般質問
- 9月28日 閉会

皆さん、町政を身近に知れるよい機会ですので、ぜひ傍聴へお越しください。

※日程は、変更になる場合がありますので、問い合わせは議会事務局へ。

ぶくぶくドームの接種会場を視察

7月17日から新型コロナウイルス接種が町内で開始される会場(ぶくぶくドーム)を、7月15日に議員が視察を行いました。

町の職員から、接種に伴う人の流れや接種の順序などの説明を受け、議員からは、いろいろな質問が出されていきました。

ワクチン接種が順調に進み、広がる新型コロナウイルスが早く終息して、住民の皆さんが普段どおりの生活に戻れることを議員全員が願っています。



編集後記

9月号では、新しく購入される救急車の特集を掲載しました。

新型コロナウイルスなどの感染症にかかった患者さんも搬送するため、新しく高濃度オゾンガス発生器も装備されます。住民の命を守つてくれる救急車。金額は高額なのでびっくりしますが、人命を守つてくれると考えると納得できます。

9月末で新型コロナウイルスの集団接種も一段落する予定です。国では、ワクチンの3回目接種も議論されています。ワクチンを接種したからといって何をしても良いのではなく、引き続き感染症対策をお願いしたいといけません。議会では、これからも住民皆さんの生活を守るために、精いっぱい努力していきます。